

目を覚ますと、朝日を浴びながら階段を下りていく
そのまま庭先に出て大きくひと伸び

今日は休日 ストープに薪を焚べ、顔を洗いに
のんびりと朝食の準備を終えると、ポットの湯もいい具合に
コーヒー片手にベンチに腰掛けると、大好きなガレージがそこに
さあ今日は何をしよう・・・

すっかり日も暮れ、ストープで揺れる火がより印象的になる頃
テレビよりも、ゆったりとした音楽をかけたくなる
週末の特別メニュー 自家製トマトを乗せたピザが焼き上がると
いつもの特等席へ

布団に入る前は日記をつけ1日を振り返る

素朴で贅沢な休日もここまで

さあ明日からもまた頑張ろう・・・

この度ご覧頂く住宅のコンセプトをいざ思い返すと、単に一言で
は表現し難いことに気づき、お施主様（N様）へプレゼンテーショ
ンした際、お話しした言葉を思い出してみました。

ウインドサーフィン、家庭菜園（畑）、DIYと多趣味なN様。
ご自身が心地良く感じる日常シーンについて、多くを語らったこと
を記憶しております。そして平日は仕事の為、決められた時間の中
で生活している、休日くらいはのんびりと自分の好きな家で過ごし
たいですよ、と。

打ち合わせの際、「この家と共に一緒に色褪せていきたい。」
木が色褪せ、塗り壁がいつか割れるのは当たり前。必要に応じてそ
の都度自ら手を加えていく。」と言われたことから想像出来るよ
う、ご自身の趣向には芯があり、世間の流行りに左右されないもの
でした。

半永久的に満足出来る住宅など、ほとんど無いように感じており
ます。刻一刻と家族は成長し、必要になるモノやコトは変化してい

自分らしく好きと暮らす。

zuiun便り vol.44

きます。N様の言葉はこのことを真摯に受け止めるとともに、覚悟
のようにも聞こえました。

また性能が良い・効率が良いなど、一般的に魅力とされる特徴は
N様にとってはどこか窮屈に感じ、それほど響かないようです。む
しろ無駄と思われるがちな用途の無いスペースや、ヒビの入るモルタ
ル素材、手間の掛かる薪ストープなどに暮らしの豊かさや価値を見
い出されている。開放的な吹抜けのある家を訪ねた際に、真っ先に
「暖房効率が悪い・経済的でない・寒そう」と感じるか「気持ち
良いな」「あの窓からは日中空が見え、夜には月が見えるのかな」
と感じるかは大きな差。マイナスの面を上回る、プラスの面をご提
案することは設計者の役割ですが、最終的には住み手の趣向に委ね
られます。

これから自分たちが暮らしていく家

世間が作り出す「間取りのいい家」「住みやすい家」は、あくま
でもその人のライフスタイルにとって都合の良いようにプランされ
た家であり、万人向けの家ではないと思っております。もちろん部
分的には参考になる箇所があるかもしれませんが、決してその中か
らどの家のタイプを選ぶか、似せるかなどとは思わないようにしま
しょう。ましてや「希望するスタイルの家が建てられそうにないの
で、仕方なくどれかの型にはめてみる」ということはあつてはなり
ません。

N様も以前一度、他の工務店でプランニングをして頂き、思うよ
うにならなかつたという経緯があり、縁あって今回ようやくお家が
竣工しました。今回の内覧会は一見奇抜で、世間体からは離れてい
るように感じるかもしれませんが、N様にとっては心地よいこだわ
りの住宅となっております。内覧頂く際は、そこでどのような暮ら
しのシーンが生まれるのかを体感頂き、今後の家づくりに対するご
自身の考え方やその幅が少しでも広がるきっかけになればと思っ
ております。

また、改めて家づくりで大切なことを学ばせて頂きました、N様
には大変感謝申し上げます。